

ラミネーターを快適にご使用いただくために

※本製品の上に覆いをかけたり、物をのせないでください。

※ほこりの多い場所に置かないでください。

※ラミネーターを快適にご使用いただくために、下記①～⑨をお読みいただき、厳守してください。

※ローラーのクリーニング不足、誤った使用方法等により、本体にフィルムが詰まった場合は、すぐに逆転ボタンを押してフィルムを引き出してください。(手順は下記⑦にしたがってください)

※必ずコクヨのラミネート(パウチ)フィルムをご使用ください。

① ラミネートできる厚さ(フィルムと紙の総厚さ)は0.6mm以下です。

紙が厚すぎると、フィルムが詰まり、故障の原因になります。

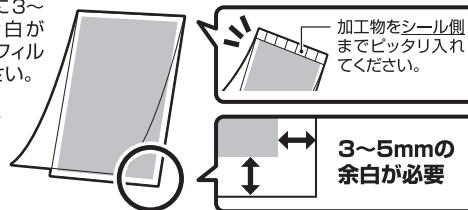
※対応フィルム厚は、100～150μmになります。



② 加工物とラミネートフィルムの大きさを揃えてください。

加工物の周囲に3～5mm程度の余白ができる大きさのフィルムをご使用ください。

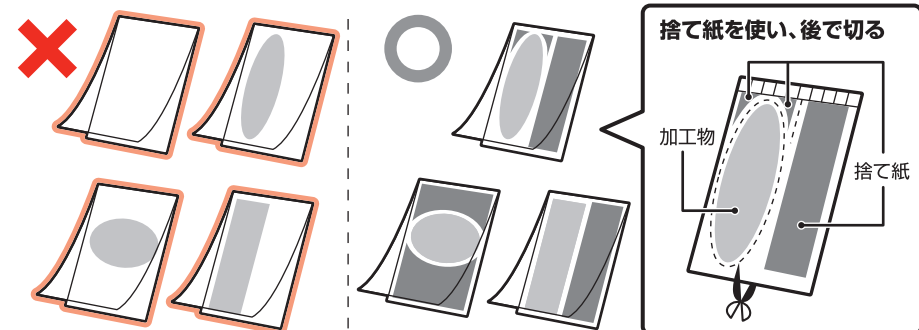
※周囲に余白がない場合、うまくラミネートができません。



③ 異形物(空白が生じる加工物)をラミネートする場合は、捨て紙を入れてください。

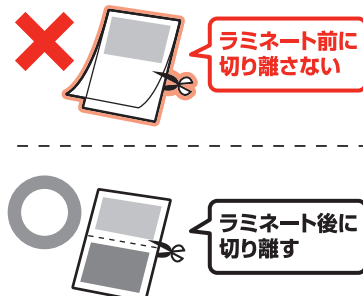
異形物をラミネートする場合、何も挟まない部分がある状態でラミネートすると、フィルム詰まりが発生し、故障の原因となりますので、捨て紙を使い「何も挟まない部分」が無い状態にしてください。

※フィルムだけでラミネートしないでください。フィルム詰まりが発生し、故障の原因になります。



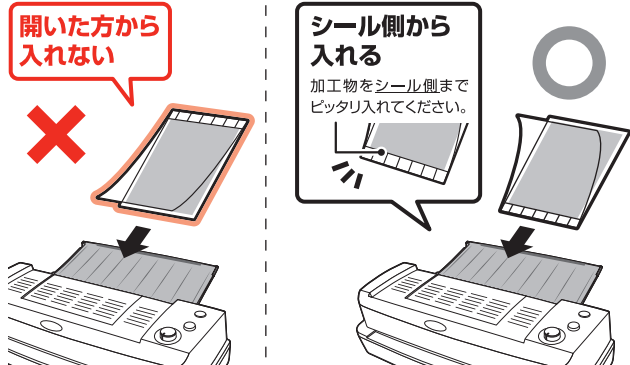
④ 使用前にフィルムを切らないでください。

ラミネートする前に、フィルムを加工物の大きさに合わせて切らないでください。フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。



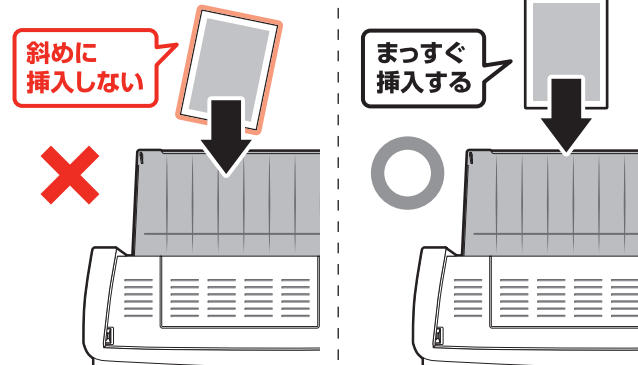
⑤ フィルムを挿入する方向に注意してください。

ラミネートする際には、フィルムのシール側から挿入してください。逆から挿入すると、フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。



⑥ まっすぐ挿入してください。

ラミネーターには、フィルムをまっすぐ挿入してください。斜めに挿入すると、フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。



⑦ フィルムが詰まった場合。

ローラーのクリーニング不足、誤ったフィルムの挿入方法等により、本体にフィルムが詰まった場合は、すぐに逆転ボタンを押して、フィルムを引き出してください。

※できるだけ早くフィルムを引き出して取除いてください。

※フィルムを取除いた後は、クリーニングシートを通してからご使用ください。



⑧ 適切な温度設定のために、フィルムの厚みに合わせて「温度設定ダイヤル」を設定してください。

「温度設定ダイヤル」の設定を誤ると、フィルムが波打ったり、詰まったりします。

温度設定
ダイヤルの
設定に注意



⑨ 使用前・使用後は、クリーニングをしてください。

ローラーの汚れが取り除けます。汚れがあると、仕上がりが汚くなったり、フィルム詰まりによる故障の原因になります。

※付属のクリーニングシートが汚れた場合、別売のパウチ用クリーニングシート KLM-CLA3 (A3サイズ) または、KLM-CLA4 (A4サイズ) をご購入ください。

クリーニングシートでお手入れ

